

第6代関市長誕生

9月11日に投票が行われた関市長選挙の結果、尾関健治氏が初当選し、第6代関市長に就任しました。任期は、平成27年9月21日までです。

なお、開票の結果は、次のとおりです。

○市長選挙の開票結果

各候補者の得票数

当 24863票

尾関健治

20340票

尾藤義昭

(敬称略)



関市長 尾関健治

○市長選挙の投票状況

地域	有権者(人)	投票者(人)	投票率(%)
関	60,122	36,540	60.78
洞戸	1,814	1,282	70.67
板取	1,310	924	70.53
武芸川	5,143	3,226	62.73
武儀	3,227	2,169	67.21
上之保	1,764	1,375	77.95
合計	73,380	45,516	62.03

市長就任あいさつ

このたび、先の関市長選挙におきまして、市民の皆様の力強いご支援と温かいご厚情を賜り、第6代関市長に就任いたしました。

課せられた使命の大きさと重責を厳粛に受け止め、市政発展のために全身全霊を捧げる覚悟です。

私は、「市民改革2011」日本一しあわせなまち、関市を市民の手で創ろう」を理念に、五つの改革に取り組みでまいります。最初に、自分たちのことは自分たちで決める社会づくりに取り組めます。関市をつくっているのは、市民一人一人の力です。声の届く市政とは、直接伝えることができる環境であり、参加できる市政です。行政と地域、行政と市民がともに知恵と力を出していく行政を推進します。二つ目に、信頼される行政経営に取り組みます。急変する時代でも持続可能な財政運営を目指し、学校の耐震化や上下水道など必要な設備には投資を行うとともに、お金の使い道をハードから、心のつながりを醸成するソフトへと転換を図ります。三つ目に、未来の宝、子どもたちに投資します。これからの関市を担う子どもたちの子育て・教育

のための環境づくりに積極的に投資を行い、人間の基礎づくり教育を推進します。四つ目に、意味ある医療・福祉・まちの整備を計画し、推進します。市民一人一人の大切な「命」を守ることが政治の使命です。お年寄りや障がい者の方も安心して住むことができるまちとなるよう、医療や福祉の充実、環境の整備を推進します。五つ目に、郷土・せきブランドの発掘に取り組みます。広報発信力に力を注ぎ、今ある資産、市民の暮らし、地域の特長を活かした、みんなが自慢できるまち・関市ブランドを推進します。

先行き不透明な社会経済情勢の中、自治体を取り巻く環境は、ますます厳しさを増して来ることをしっかりと自覚し、市民の知恵と力を集めながら、全力で市政に取り組んでまいります。

市民の皆様、市議会ならびに関係機関の皆様には、私のまちづくりに対するご理解とご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

【市長プロフィール】

尾関健治(おせき けんじ)

▽39歳(昭和47年生まれ)

▽関市出身

▽早稲田大学卒業・同大学院社会科学
研究科修士課程修了

▽関市議会議員(平成19年4月～平成
23年9月)

▽関市長就任